※令和４年度以降入学生用

学校番号	3016

令和５年度　工業科（機械系）

教科	工業	科目	機械設計	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	機械設計Ｉ　（実教出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

私たちの身近にある自動車やテーマパークの遊具など、機械や器具は、安全に使用できるように、部材の材質、断面形状や太さが計算されています。歯車・ベルト・チェーンなどの動力伝達装置や、ボルトの太さ・本数や溶接箇所まで緻密に計算されています。
機械設計は、機械や器具の設計に関する基礎的な知識と技術を習得し、産業界を支える人材となることが目標です。実習の中では、機械製図や、機械設計、機械工作などの専門に関する座学や、理科、数学などの教科で学んだことを活用し、学習の効果を高めるよう工夫しましょう。学習する中で基礎的な問題演習を繰り返すことで、知識の定着を目指します。

２　学習の到達目標

機械に働く力や材料の強さ、また機械要素などにつき知識を深め、機械設計に関する基礎的な知識と技術を習得させ、機械・器具などを創造的・合理的に設計する能力と態度を育成する。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	機械に働く力や機構などの機械設計に関する知識と技術を身に付け、現代社会の生産における設計の意義や役割を理解している。また、創造的に機械を設計する能力を適切に活用している	機械に働く力や機構などの機械設計に関する知識と技術の修得を目指し、基本的な力学の原理や理論及び計算技術などを基に、適切に判断し、創造的に表現（処理）する能力を身につけている。	機械に働く力や機構などの機械設計に関する知識と技術に関心を持ち、その設計技術の修得を目指し主体的に取り組むとともに、創造的に機械を設計する態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	1章　機械と設計	１．機械のなりたち ２．機械設計	a: 機械と設計の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、現代社会における工業の意義や役割を理解している。 b:機械と設計に関する諸課題の解決を目指して指向を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。 c: 機械と設計に関する諸課題について関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けようとしている。	定期考査	定期考査 ノート・プリントの記述	学習状況の観察 授業発表

※令和４年度以降入学生用

	２章 機械に働く力と仕事	１．機械に働く力 １）力の合成・分解 ２）力のモーメントと偶力 ３）重心 ２．機械の運動 １）直線運動 ２）回転運動 ３．仕事と動力 １）仕事 ２）道具などを利用した仕事 ３）エネルギー ４）動力 ４．摩擦と機械の効率 １）滑り摩擦 ２）機械の効率	a: 機械に働く力と仕事の各分野に関する基礎的･基本的な知識を身につけ、現代社会における工業の意義や役割を理解している。また、これらに関連する技術を身につけ、安全や環境に配慮し、ものづくりを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。 b: 機械に働く力と仕事に関する諸課題の解決を目指して指向を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。 c: 機械に働く力と仕事に関する諸課題について関心を持ち、その改善･向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けようとしている。	定期考査	定期考査 ノート・プリントの記述	学習状況の観察 授業発表

※令和４年度以降入学生用

２学期	３章　材料の強さと使いかた	１．材料の機械的性質 ２．曲げを受ける部材の強さ ３．せん断荷重を受ける材料の強さ ４．材料の破壊と強さ ５．曲げ ６．ねじり	a：材料の強さと使いかたの各分野に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、現代社会における工業の意義や役割を理解している。また、これらに関連する基礎的・基本的な技術を身につけ、安全や環境に配慮し、ものづくりを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。 b：材料の強さと使いかたに関する諸課題の解決を目指して指向を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。また、基礎的・基本的な技術を身につけ、安全や環境に配慮し、ものづくりを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。 c：材料の強さと使いかたに関する諸課題について関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けようとしている。	定期考査	定期考査 ノート・プリントの記述	学習状況の観察 授業発表

※令和４年度以降入学生用

3学期	4章 ねじ	1. ねじの種類と用途 2. ねじに働く力 3. ボルトとナット	a: ねじの種類と各部の名称を理解し、ねじの用途を理解している。さらに、締結要素として、加わる力からボルトの太さやナットの大きさを決定できる能力を身につけている。 b: 既習の力学の発展的学習として、ねじを斜面に対比して理解できる。 c: 日常で使われているねじについて興味を持ち意欲的に学習に取り組む。	定期考査	定期考査 ノート・プリントの記述	学習状況の観察 授業発表

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度